

2 集計結果の分析と改善策

(1) 評価の高かったもの(A:十分 B:概ね十分 の総計値)

- ア (No. 8) 保護者等へ「緑陵だより」や緑陵 Web ページなどを活用し、積極的に情報の発信が行われている。(100%)
- ・ 日常の教育活動など学校の状況について保護者等に積極的に情報提供を図る取組が充実している。
- イ (No. 17) 部活動への積極的な参加を促すとともに、学習と両立させる工夫や指導が適切に行われている。(100%)
- ・ 学校生活の様々な場面を通じて、豊かな人間性を形成できるようコミュニケーション能力を育む取組が充実している。
 - ・ 昼講習の実施など学習と部活動を両立させる工夫や指導が適切に行われている。
- ウ (No. 22) インターンシップなどを通じて、的確な職業観育成のための取組が行われている。(100%)
- ・ 望ましい勤労観・職業観を育てるキャリア教育が充実している。
- エ (No. 28) 校内LANの整備及び円滑な運用が進められ、校内の情報管理の徹底に努めている。(100%)
- ・ 厳重なセキュリティ管理のもと、校内LANシステムにより情報やデータが一元化管理され、文書・様式等の統一化や事務処理の利便性が高められているとともに効率化が図られている。
- オ (No. 30) 総合的に見て、本校の教育活動は良好であり、十分な教育効果を上げている。(100%)
- ・ 開かれた学校づくり、特色ある学校づくりが推進されている。

(2) 評価の低かったもの(C:やや不十分 D:不十分の総計値)

- ア (No. 11) 各教科・科目のシラバスを十分に活用し、教育効果を上げている。(35.5%)
- ・ シラバスの活用が年度初めのオリエンテーションや選択科目の希望調査の場面など、活用が限定される傾向にある。今後は、進路指導部とも連携し「進路の手引」とも併用してシラバスの活用を図るなど、効果的な活用方法を検討する。
- イ (No. 4) 学校運営の効率化などを図るために、組織や規程等の検討・改善が行われている。(32.3%)
- ・ 個々の教育活動を有機的に結び付け、組織的に学校運営を行う体制を充実させる必要がある。
- ウ (No. 27) 施設・設備等の教育環境は、十分に整備充実されている。(32.3%)
- ・ 安全・安心な学習・生活環境の整備を図るため、学校施設・設備の整備充実が必要である。
- エ (No. 13) 総合的な学習の時間は趣旨やねらいを踏まえて適切に実施されている。(25.8%)
- ・ 学び方やものの考え方を身に付け、自己の在り方生き方を考えることができるよう内容の充実を図る必要がある。
- オ (No. 24) 学年・教科の連携を密にした指導体制の工夫・改善が図られている。(25.8%)
- ・ 学年との連携の観点から、成果の引き継ぎや統一性・一貫性・系統性を大切にしたい体制が必要である。